

関係各位

2021年10月29日

615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21

ローム株式会社

(コード番号:6963)

<新企画>

佐藤研一郎の意志を紡ぐ一流の音楽家によるコンサートを新たにスタート! 「Ken Sato Memorial Concert」

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、2022年1月より、新企画「Ken Sato Memorial Concert」をスタートいたします。

ローム株式会社の創業者であり、ローム ミュージック ファンデーションを設立した佐藤研一郎(1931年~2020年)は、経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力。自身の愛する音楽を通じて社会に貢献するため、数多くの音楽文化支援活動を行ってきました。故人の意志を末永く紡いでいくため、毎年1月に一流の音楽家によるコンサートを開催いたします。

【コンセプト】

かつてピアニストを目指していた佐藤研一郎の音楽への想いを形にするために、世界で活躍する一流の音楽家によるコンサートを毎年ロームシアター京都にて開催し、音楽文化の普及に貢献する。

【Ken Sato Memorial Concert Vol.1 について】

これまでに日本の主要オーケストラはもとより、海外のオーケストラとの共演も数多く、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活動している仲道郁代による、“オール・ショパン・プログラム”をお届けします。佐藤研一郎も好んだショパンの調べをどうぞお楽しみください。



佐藤研一郎(Ken Sato)

<出演者コメント>

私自身は、佐藤様に直接お目にかかる機会はありませんでしたが、佐藤研一郎様が、多くの音楽家の活動をご支援くださり、音楽界の発展に大きなお力をくださいましたことに、深い敬意と感謝の念を抱いております。この度、メモリアルコンサート第一回を務めさせていただきますこと、佐藤様の音楽に対するご愛情、大好きでいらしたというショパンへの思いを感じながら演奏したいと思います。

プログラムでは、佐藤様のお好きでいらした曲や、ショパンが人生をかけて哀しみと共に音に綴ったポーランドへの思いの詰まった曲をお聴きいただきます。幻想曲では、遠く離れた故郷の民衆の足音や祈りの声、戻ることの叶わないショパン自身への忸怩たる思いが聞こえてきます。またバラード1番では、古くから伝わるポーランドの叙事詩の世界感もお感じいただけることでしょう。

それぞれの曲について、お話し交えながら演奏いたします。ショパンの音の世界に浸っていただけましたら幸いです。



Vol.1 出演者:仲道郁代(ピアノ)

公 演 名 : ROHM CLASSIC SPECIAL

Ken Sato Memorial Concert Vol.1

～仲道郁代 オール ショパン プログラム～

日 程 : 2022年1月15日(土) 14:00 開演(13:20 開場)

会 場 : ロームシアター京都 サウスホール(京都市左京区岡崎最勝寺町 13)

出 演 者 : 仲道郁代(ピアノ)

曲 目 : 幻想即興曲 嬰ハ短調 作品 66、ノクターン 第 2 番 変イ長調 作品 9-2、ポロネーズ 第 6 番 変イ長調「英雄」作品 53 他

入 場 料 : S 席(1 階) 4,000 円 / A 席(2 階) 3,000 円 (全席指定・消費税込)

チケット販売 : 2021年10月30日(土)エラート音楽事務所(075-751-0617)他
にて販売開始

主 催 : 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

協 賛 : ローム株式会社

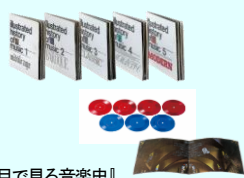
【佐藤研一郎(Ken Sato) <1931年～2020年>と音楽】

ピアニストの夢を諦め、音楽とは異なる道へ…

半導体、総合電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者、佐藤研一郎は、ヴァイオリニストの父を持ち幼いころから音楽に親しみ自然に音楽を志すようになりました。ピアニストになる夢を持ち続け研鑽を積んでいましたが、コンクールで思うような結果を出せず、その夢を諦めた佐藤研一郎は、ラジオ修理のアルバイトから興味をもった抵抗器の研究に没頭するようになります。そして自宅の風呂場で開発した「平行リード型固定抵抗器」の実用新案を基に、1958年に東洋電具製作所(ローム株式会社の前身)を創立し、音楽とは異なる道を歩み始めました。



「音楽文化支援活動」で音楽への想いを形に



『目で見る音楽史』

会社を成長させる一方で、音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤研一郎は、「音楽文化の支援活動」でその想いを形にしていきます。1965年『目で見る音楽史』出版に始まる様々な音楽文化支援活動を行い、1991年にこれらの活動を継続的かつ安定的に実施するために佐藤研一郎とローム株式会社が中心となって、音楽文化支援を行う『財団法人 ローム ミュージック ファンデーション』（現在は「公益財団法人」)を設立しました。



音楽文化の普及と発展を目指して…

ローム ミュージック ファンデーションの理事長として、音楽文化の普及と発展のために様々な事業を行いました。特に若い音楽家の支援に力を入れていました。それは、自身が「音楽家になることの苦勞」を一番理解していたからでした。同時に、「音楽ってというのは、一人だけで上手に弾けるようになるわけじゃない。チケットを買って聴きに来てくれる人がいるから、舞台上で弾こうって気にもなる。支援の目的として聴衆の輪を広げるのも大事なこと。」と、多くの人に音楽を親しんでもらいたいとも願っていました。

その想いはいつまでも色褪せることなく、ローム ミュージック ファンデーションの理念に受け継がれ、現在も多くの音楽家への支援、そして音楽を親しんでいただく機会を増やすことに繋がっています。

<この件に関するお問合せ先>

ローム株式会社 メセナ推進室 / 広報 IR 室

〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21

TEL(075)311-2121、E-mail:mecenat@rohms.co.jp / press@rohms.co.jp

Ken Sato Memorial Concert

Vol.1

ROHM CLASSIC SPECIAL

Ikuyo Nakamichi

仲道郁代

～オール ショパン プログラム～

2022 **1.15** |土| 14:00 開演 (13:20 開場)

ロームシアター京都 | サウスホール |



©Kiyotaka Saito

Program

● 第1部

幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66
ノクターン 第2番 変ホ長調 作品9-2
幻想曲 ヘ短調 作品49
練習曲 第12番 ハ短調「革命」作品10-12
練習曲 第3番 ホ長調「別れの曲」作品10-3
バラード 第1番 ト短調 作品23

● 第2部

ノクターン 第13番 ハ短調 作品48-1
ノクターン 第14番 嬰ヘ短調 作品48-2
ワルツ 第6番 変ニ長調「小犬のワルツ」作品64-1
ワルツ 第7番 嬰ハ短調 作品64-2
ノクターン 第20番 嬰ハ短調(遺作)「レント・コン・グラン・エスプレシオーネ」
ポロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」作品53

S席(1階) 4,000円 / A席(2階) 3,000円
(全席指定・消費税込)

【チケットお取り扱い】

- ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
- 京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 204-421]
- エラート音楽事務所 075-751-0617

《お問合せ》エラート音楽事務所 075-751-0617

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※都合により内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛: ローム株式会社

IKUYO NAKAMICHI ALL CHOPIN PROGRAM 2022

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力した佐藤研一郎。自身の愛する音楽を通じて社会に貢献するため、数多くの音楽文化支援活動を行ってきた故人の功績を称え、一流の音楽家によるコンサートをお届けします。

佐藤研一郎と音楽 <1931年～2020年>

Ken Sato

半導体、総合電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者、佐藤研一郎は、ヴァイオリニストの父を持ち幼いころから音楽に親しみ自然に音楽を志すようになりました。ピアニストになる夢を持ち続け研鑽を積んでいましたが、コンクールで思うような結果を出せず、その夢を諦めた佐藤研一郎は、ラジオ修理のアルバイトから興味をもった抵抗器の研究に没頭するようになります。そして自宅の風呂場で開発した「平行リード型固定抵抗器」の実用新案を基に、1958年に東洋電機製作所(ローム株式会社の前身)を創立し、音楽とは異なる道を歩み始めました。

会社を成長させる一方で、音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤研一郎は、「音楽文化の支援活動」でその想いを形にしています。1965年『目で見る音楽史』出版に始まる様々な音楽文化支援活動を行い、1991年にこれらの活動を継続的かつ安定的に実施するために佐藤研一郎とローム株式会社が中心となって、音楽文化支援を行う『財団法人ローム ミュージック ファンデーション』(現在は「公益財団法人」)を設立しました。

ローム ミュージック ファンデーションの理事長として、音楽文化の普及と発展のために様々な事業を行いました。特に若い音楽家の支援に力を入れていました。それは、自身が、「音楽家になることの苦勞」を一番理解していたからでした。同時に、「音楽ってというのは、一人だけで上手に弾けるようになるわけじゃない。チケットを買って聴きに来てくれる人がいるから、舞台上で弾こうって気にもなる。支援の目的として聴衆の輪を広げるのも大事なこと。」と、多くの人に音楽を親しんでもらいたいとも願っていました。その想いはいつまでも色褪せることなく、ローム ミュージック ファンデーションの理念に受け継がれ、現在も多くの音楽家への支援、そして音楽を親しんでいただく機会を増やすことに繋がっています。



©Tatsuo Sasaki



©Taku Miyamoto


ピアニスト 仲道郁代

Ikuyo Nakamichi

第51回日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。ピッツバーグ響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ドイツ・カンマーフィル等、海外のオーケストラと共演多数。CDはレコード・アカデミー賞受賞を含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」「ドビュッシーの見たもの」他。著書に『ピアニストはおもしろい』(春秋社)他。ベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to 2027 プロジェクト」リサイタルシリーズを展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

お客様の安全・安心のために



その他
新型コロナウイルス感染症対策は
ロームミュージックファンデーション
WEBサイトをご参照ください。

新型コロナウイルス感染症対策について

- 客席は間隔をあけてチケットを販売しております。
- 購入の際は、氏名と電話番号を必ずご登録ください。
- 入場時、また場内ではマスクの常時着用をお願いいたします。
- 入場時の検温、手指消毒にご協力ください。平熱より1度以上、または37.5度以上の発熱がある方は、ご入場をお断りいたします。
- 出演者への入待ち、出待ち、面会はご遠慮ください。また、手紙、花、プレゼントなどはお預かりできません。

ローム ミュージック ファンデーションの事業

音楽文化の発展 ～音楽家の育成～

音楽文化の発展のため、ローム ミュージック ファンデーションはこれからの音楽界を担う若い音楽家たちの夢をサポートしています。そしてここで関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」として、共に多くの方々に音楽を届ける仲間となつていただいています。

ローム ミュージック フレンズ合計4,650名(2021年10月現在)

奨学生	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の給付。	507人
音楽在外研究生	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。	64人
音楽セミナー受講生	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。現在までに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施。	333人
ローム ミュージック セミナー受講生	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー。	7人
京都・国際音楽学生フェスティバル出演者	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。	2,625人
小澤征爾音楽塾 塾生	オペラやオーケストラを通じて若手音楽家を育成するプロジェクト。	1,363人

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません

音楽文化の普及 ～聴衆の拡大～

音楽をより身近にするため、多くのコンサートを開催・支援し、音楽に関する調査・発表などを行っています。音楽文化の普及を通じて、ローム ミュージック ファンデーションはより良い社会づくりに貢献していきます。

ローム ミュージック フェスティバルの開催	ミュージックサロン(ロームシアター京都)でのイベント開催
音楽活動への助成	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室への助成
日本フィル <コパケン・ワールド> コン서트への助成	日本フィル 夏休みコンサートへの助成
「ロームクラシックサイエンス」シリーズの発行	ローム ミュージック ファンデーション SPレコード復刻CD集、解説DVDの発行 他

事業内容の詳細はこちら→



「音楽を育み、豊かな文化を」